



ファームウェアバージョン :	2.20.011	
ハードウェアバージョン :	DES-3810-28	A1
発行日 :	2012/05/30	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード.....	2
Web-UI を使用するアップグレード.....	4
追加機能 :	7
MIB および D-View モジュールの変更点 :	8
コマンドラインインタフェースの変更点 :	8
修正した問題点 :	8
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：v2.20.011 PROM：2.00.004	2012/05/30	DES-3810-28	A1

注意事項：

DES-3810 シリーズでは、エンハンスド(EI)バージョンとスタンダード(SI)バージョンは共通イメージとなっておりますが、各イメージでは使用できる機能が異なっておりますのでご注意ください。機能に関しては、最新のデータシート及びカタログを参照ください。

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップグレードを行うことができます。PROM コードのアップグレードについては、R2.15.004 のリリースノートをご参照ください。

CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RJ-45 ポート（コンソールポート）に付属のコンソールケーブルを使用して PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートをコンソールケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていませんので、何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} src_file <path_filename 64> dest_file <pathname 64>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image <path_filename 64> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
dir <pathname>}	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。
次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DES-3810-28:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DES3810_2_20_011.had dest_file  
DES3810_2_20_011.had
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DES3810_2_20_011.had dest_file DES3810_2_20_011.had
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DES-3810-28:admin#config firmware image DES3810_2_20_011.had boot_up
```

```
Command: config firmware image DES3810_2_20_011.had boot_up
```

```
Success.
```

3.ダウンロードし、ブートアップ時に起動するファイルとして設定が正常にされているか確認します。

```
DES-3810-28:admin#dir
```

```
Command: dir
```

```
Directory of c:/:
```

Idx	Info	Attr	Size	Update Time	Name
1	RUN(*)	-rw-	6034648	2012/04/22 12:06:17	DES3810_2_20_011.had
2	RUN	-rw-	5959420	2000/01/19 04:48:54	runtime.had
3	RUN(b)	-rw-	5959420	2000/01/19 05:19:20	DESS3810_R215004.had
4	CFG(*)	-rw-	32118	2012/04/06 09:51:43	config.cfg
5		d---		2012/04/22 12:02:05	system

```
30528 KB total (12862 KB free)
```

```
(*) -with boot up info
```

```
(b) -with backup info
```

4.ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

```
DES-3810-28:admin#reboot
```

```
Command: reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

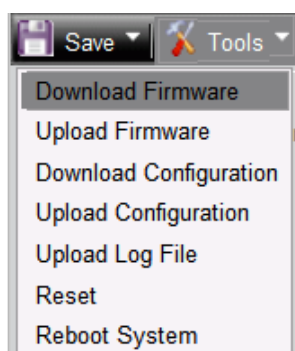
```
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後に、“show switch”コマンドを実行して、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Web-UI を使用するアップグレード

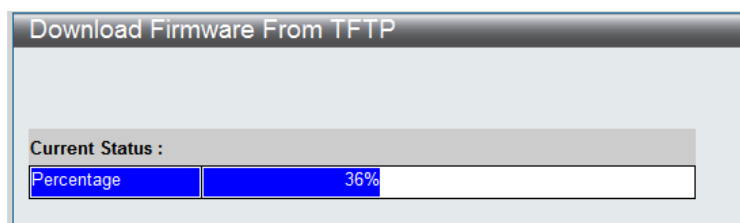
1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。（必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行ってください。）
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていませんので「空白」でログインを行ってください。
5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



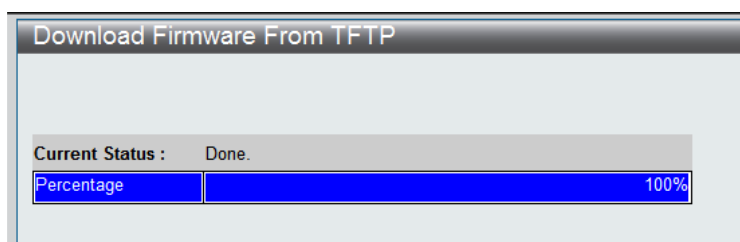
6. 「Download Firmware」画面において、必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration page. It features four radio buttons for selecting the source: 'Download Firmware From TFTP' (selected), 'Download Firmware From FTP', 'Download Firmware From HTTP', and 'Download Firmware From RCP'. Below these, there are input fields for 'TFTP Server IP' (containing '10.90.90.100'), 'Source File' (containing 'DES3810_2_20_011.had'), and 'Destination File' (containing 'C:/DES3810_2_20_011.had'). To the right of the IP field are radio buttons for 'IPv4' (selected) and 'IPv6'. A 'Download' button is located at the bottom right of the form.

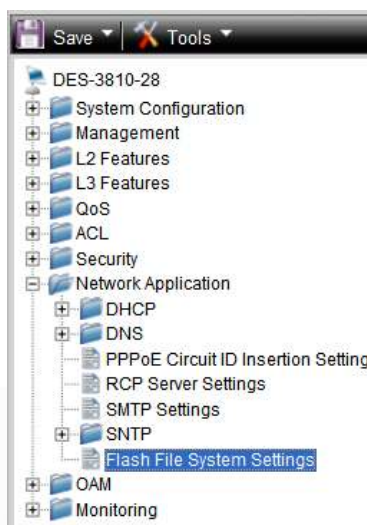
- 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、下記画面のように表示されます。



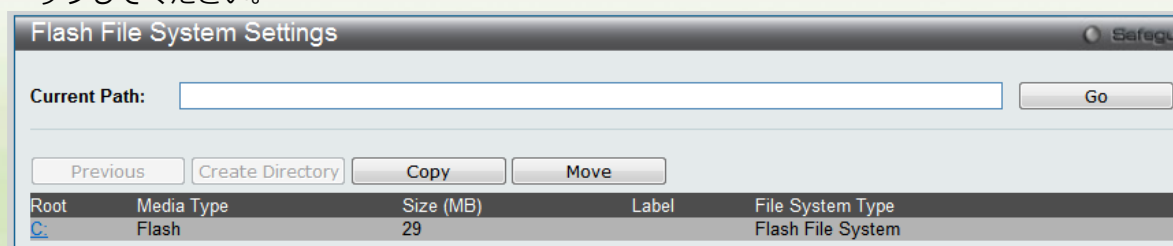
- Percentage の値が 100%と表示されるまで待ちます。



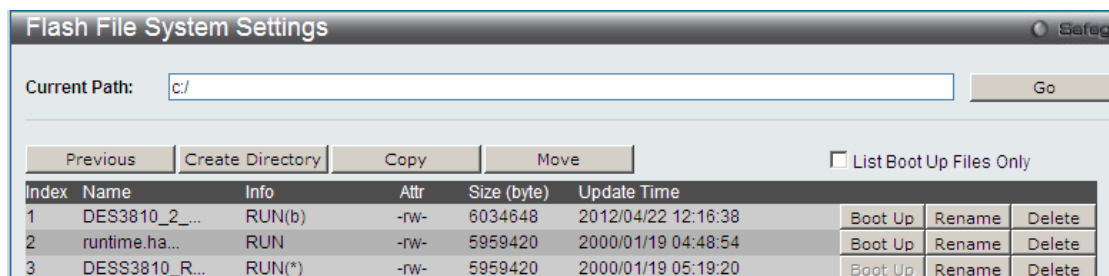
- 次のスイッチのリポート時にダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に起動するファイルとして設定を行います。左のメニューの、**Network Application > Flash File System Settings** の順にクリックします。



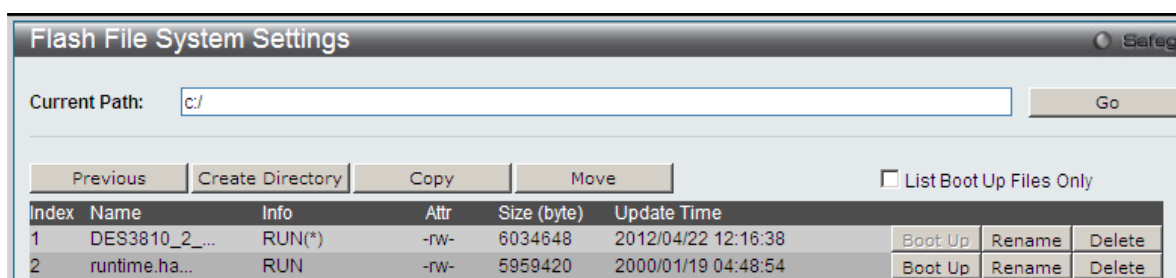
- Flash File System Settings の下記画面が表示された後、Root の項目に表示されているルート名をクリックしてください。



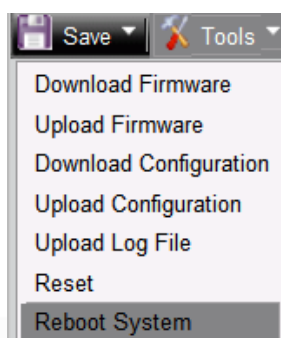
- 新しくアップロードしたファームウェアを次回ブートアップファイルとして設定するために、設定したい Image ID を選択し、「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルを設定します。



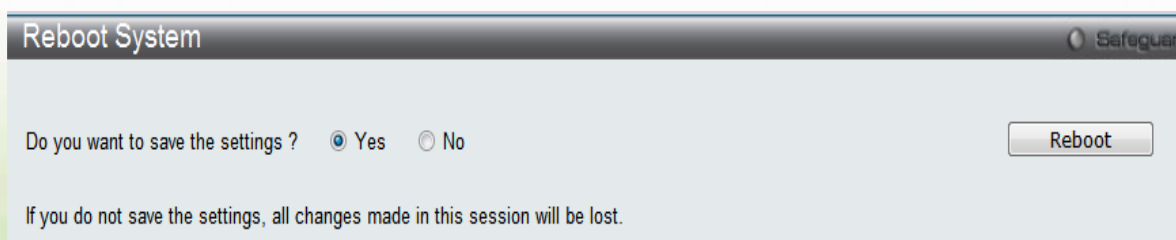
- ブートアップファイルの登録が正常に終了すると、「Success.」とメッセージが表示されます。OK ボタンをクリック後、画面が更新され、ブートアップファイルとして設定したファームウェアに*印が表示されます。



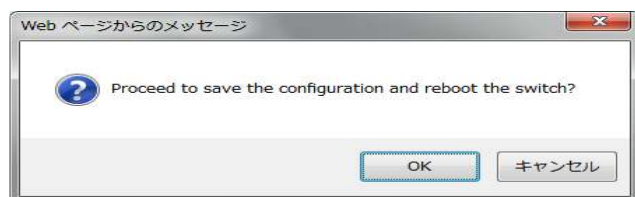
- スイッチのリブートを行なうために、**Tools> Reboot System** の順でクリックし、リブートを行います。



- 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。



15. 下記確認画面で「OK」をクリックします。



16. 再起動後、Device Information において、Firmware Version が「Build 2.20.011」であることをご確認ください。

Device Information			
Device Information			
Device Type	DES-3810-28 Fast Ethernet Switch	MAC Address	34-08-04-4A-DC-00
System Name		IP Address	10.90.90.90 (Static)
System Location		Mask	255.0.0.0
System Contact		Gateway	0.0.0.0
Boot PROM Version	Build 2.00.004	Management VLAN	default
Firmware Version	Build 2.20.B011	Login Timeout (min)	10
Hardware Version	A1	System Time	22/04/2012 12:37:44 (System Clock
Serial Number	PVN71B3000...	Firmware Type	SI

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
2.20.011	<ol style="list-style-type: none"> 1. RIPng に対応致しました。(EI のみ) 2. DHCP サーバはオプション 60 および 62 に対応致しました。 3. DNS リレーは以下のアトリビュートをサポート致しました。 MX、NS、CNAME、AAAA、TXT、SOA、ANY (リレーのみ) 4. Ping MIB および Traceroute MIB で Ping 回数の設定をサポート致しました。 5. IPv6 での SSH に対応致しました。 6. JWAC に対応致しました。 Radius サーバからのアトリビュートに基く、ポートへの ACL アサインに対応致しました。 7. LBDv4.04 に対応致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

MIB ファイルの追加機能は、対応する D-View モジュールにも実装されます。

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	追加機能
2.20.011	RIPng.mib	RIPng MIB に対応致しました。(EI のみ)
	DLMS.mib	DLMS MIB に対応致しました。
	DHCPServer.mib	DHCP Server MIB はオプション 60、82 に対応致しました。
	RFC2925.mib	PingMIB および TracerouteMIB で Ping 回数の設定に対応致しました。
	SSH.mib	SSH MIB で IPv6 に対応致しました。

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
2.20.011	DDM ポートシャットダウンアクションのデフォルト設定を“シャットダウン”から“None”に変更いたしました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
2.20.011	SSH に関わる脆弱性を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
2.20.011	1. IMPB の ACL が低いプライオリティの場合でも、ユーザ定義の ACL より優先される問題（仕様による）

Copyright 2006-2012 D-link Japan K.K.